

# 中期経営計画(2020-2022)の取り組みと 2020年度の重点施策

構造改革を軸とした中期計画フェーズII※のスタートにあたり

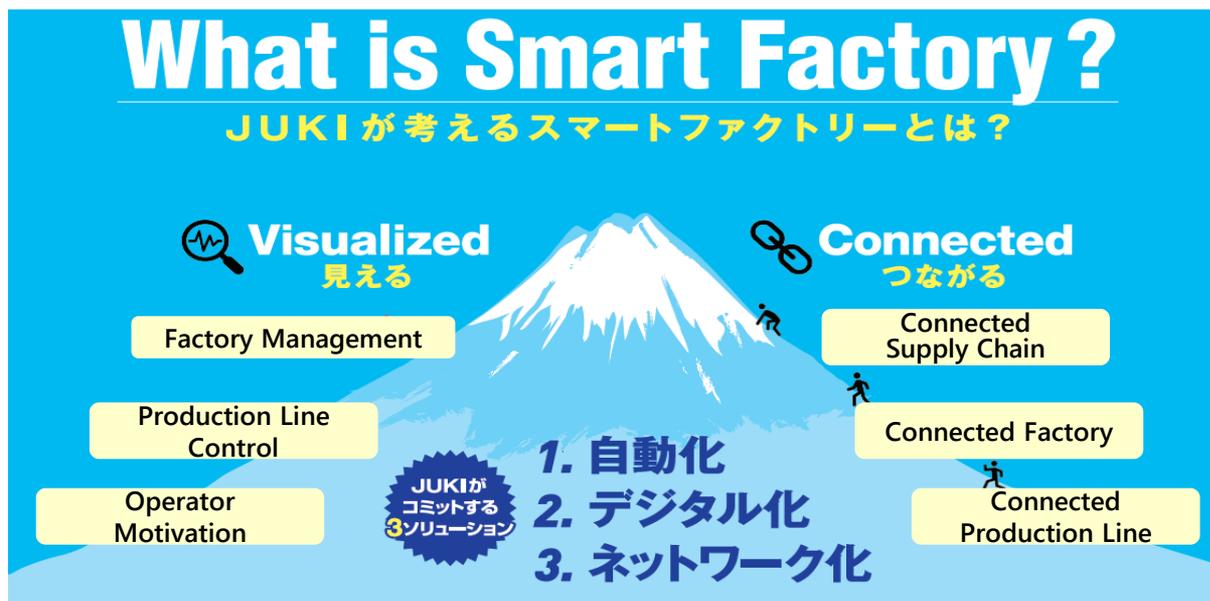
⇒ 将来の成長基盤構築のため、2022年ビジョン(3年後のゴール)を明確にした上で、

「事業環境への対応」と「フェーズI※で“やり残した課題”」に取り組む

※フェーズI：2017-2019中期計画 フェーズII：2020-2022中期計画

フェーズIIビジョン(2022年)

お客様とJUKIが製品・サービスを通じて企業価値を向上できる“モノ-コト”づくり企業  
～スマートファクトリーに向けてWinWinのパートナーへ～



## 事業環境

- ・世界経済の鈍化
  - ⇒ 長期化する米中貿易摩擦、英国のEU離脱、深刻化する中東情勢により、一般的な設備投資需要が停滞
  - ⇒ 深刻化する人手不足や労働賃金の上昇等により、産地移転の動きが加速
- ・競争の激化
  - ⇒ 工業ミシン: 中国メーカーの台頭により、ミドルマーケットにおける競争が激化
  - ⇒ 産業装置: 競合の領域拡大・異業種からの参入が進み、競争が激化
- ・技術革新の加速
  - ⇒ 企業・家庭の様々な分野において、AI・IoT・5G等の先端技術活用が加速※  
(※DX:デジタルトランスフォーメーション)

## 社会的要請

- ・持続可能な社会実現に向けた取り組み(=SDGs経営)
  - ⇒ 地球環境問題への対応
  - ⇒ 多様な働き方の推進・生産性向上への取り組み
  - ⇒ コンプライアンスの遵守・コーポレートガバナンスの強化への対応

時代の“潮目”(=変わり目)の影響を受けるが、新しい時代の流れを“自ら掴む年”!!

5X※ = 新しいJUKIの成長エンジン(※X: Transformation=変革)

これらを通じて“稼げるビジネスモデル”を作り、将来の顧客基盤を構築

## 5つの変革

- ① 成長力のある市場・お客様の開拓 : ボーダレスX
- ② 収益力をアップする事業領域の拡大 : ビジネスモデルX
- ③ イノベーティブな技術領域の拡大 : R&DモデルX
- ④ 経営の5S※を軸とした  
生産体制及び管理(間接)業務体制の構築 : 働き方改革X  
※JUKIの経営5S (Simple, Slim, Speedy, Seamless, Smart)
- ⑤ “持続可能な”経営の実践 : SDGs経営X

## 構造改革 = “5つの変革”を軸にした中期計画の重点取り組み

### ①コスト構造改革

- ・管理間接業務のスリム化
- ・SCMの再構築
- ・工場スマート化改革

### ②事業領域拡大による 付加価値の極大化

- ・工業用マシン: 高収益分野の営業力強化・  
新商品の拡販
- ・産業装置: 非マウンタ・非SMT分野の  
販売拡大
- ・グループ事業: エンジニアリング事業強化
- ・カスタマーサービス: サービス事業拡大

### ③ボーダレスによる 顧客基盤強化

- ・ミドルマーケット開拓強化
- ・重点市場における販売網再構築
- ・本社・販社営業の一体運営

足元の収益改善

稼げる収益基盤構築

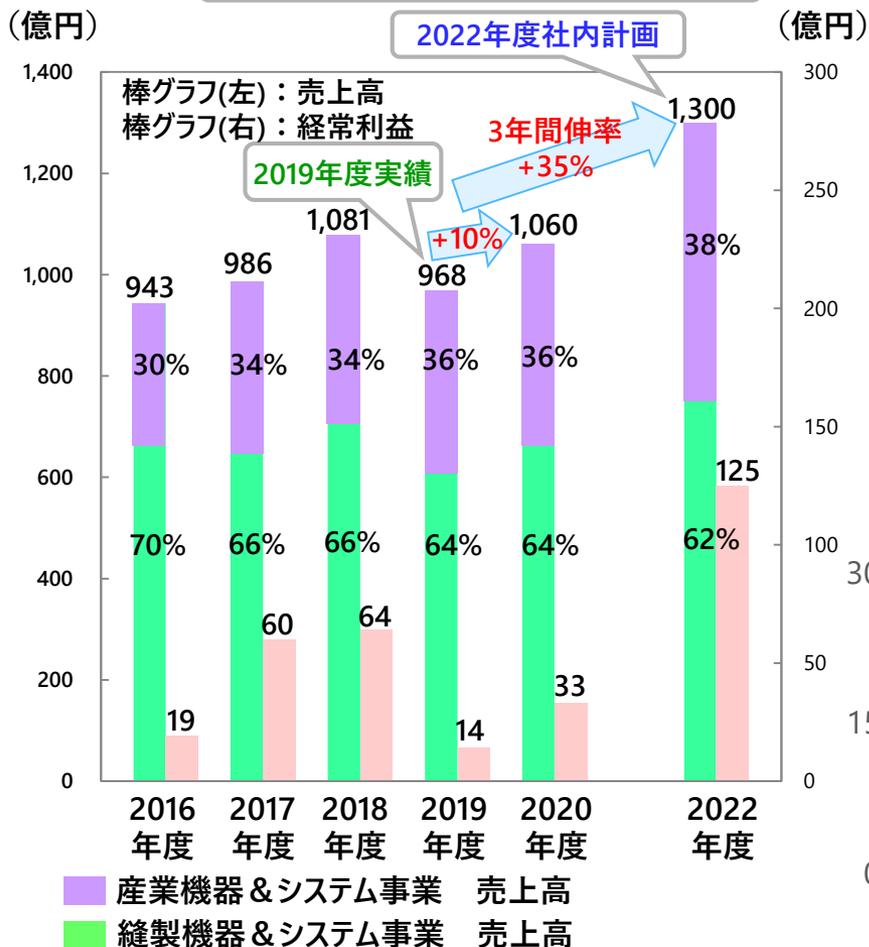
将来の顧客基盤構築

持続可能な成長を実現する事業基盤の構築へ!!

【売上高・経常利益】

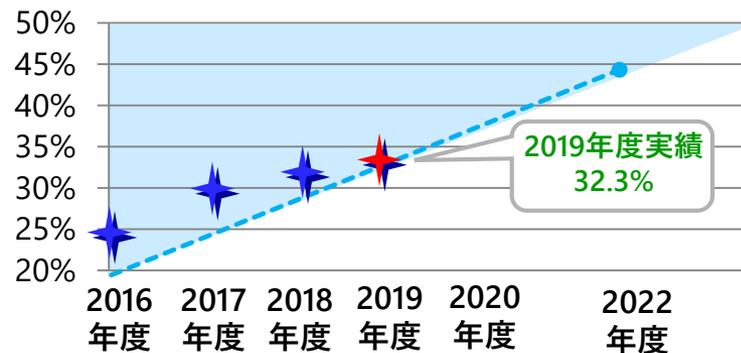
(目標：年間10%増収)

2020年度 年間予想値 1,060億円

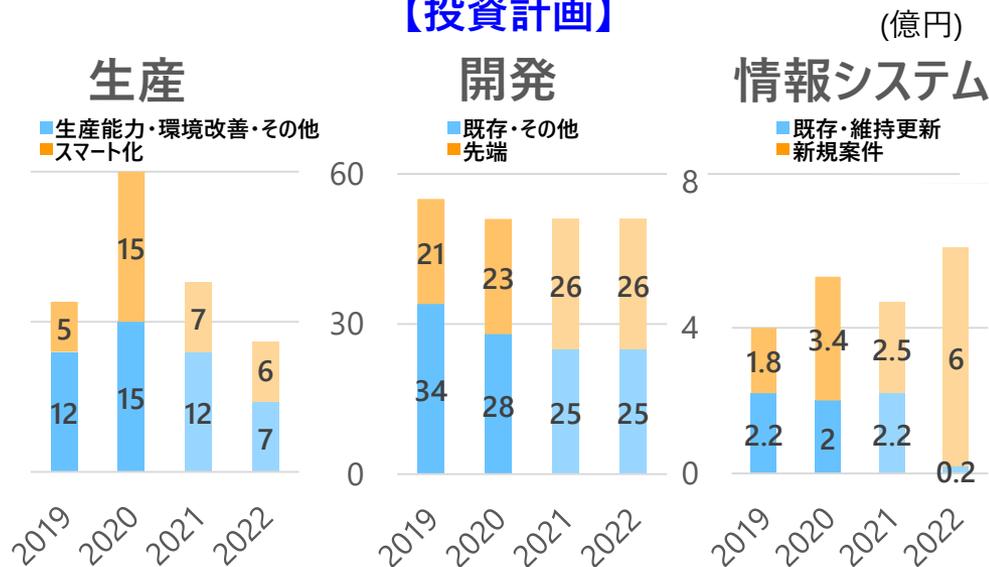


【自己資本比率】

(目標：2022年度末 実勢レート44%以上)



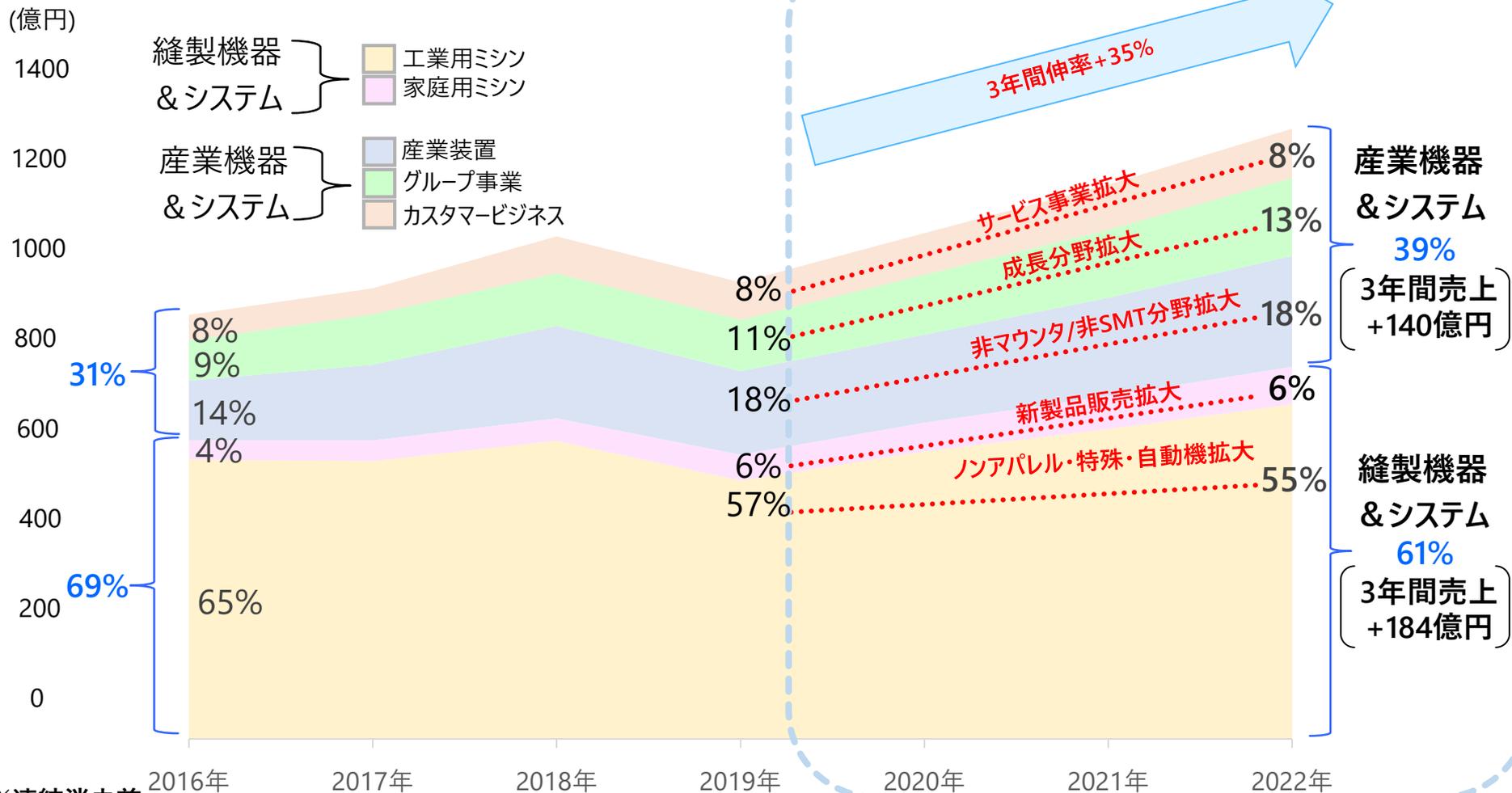
【投資計画】



※グラフ中 実績・計画共、1ドル=105円 換算ベース

## 中期計画の取り組み 事業領域の拡大

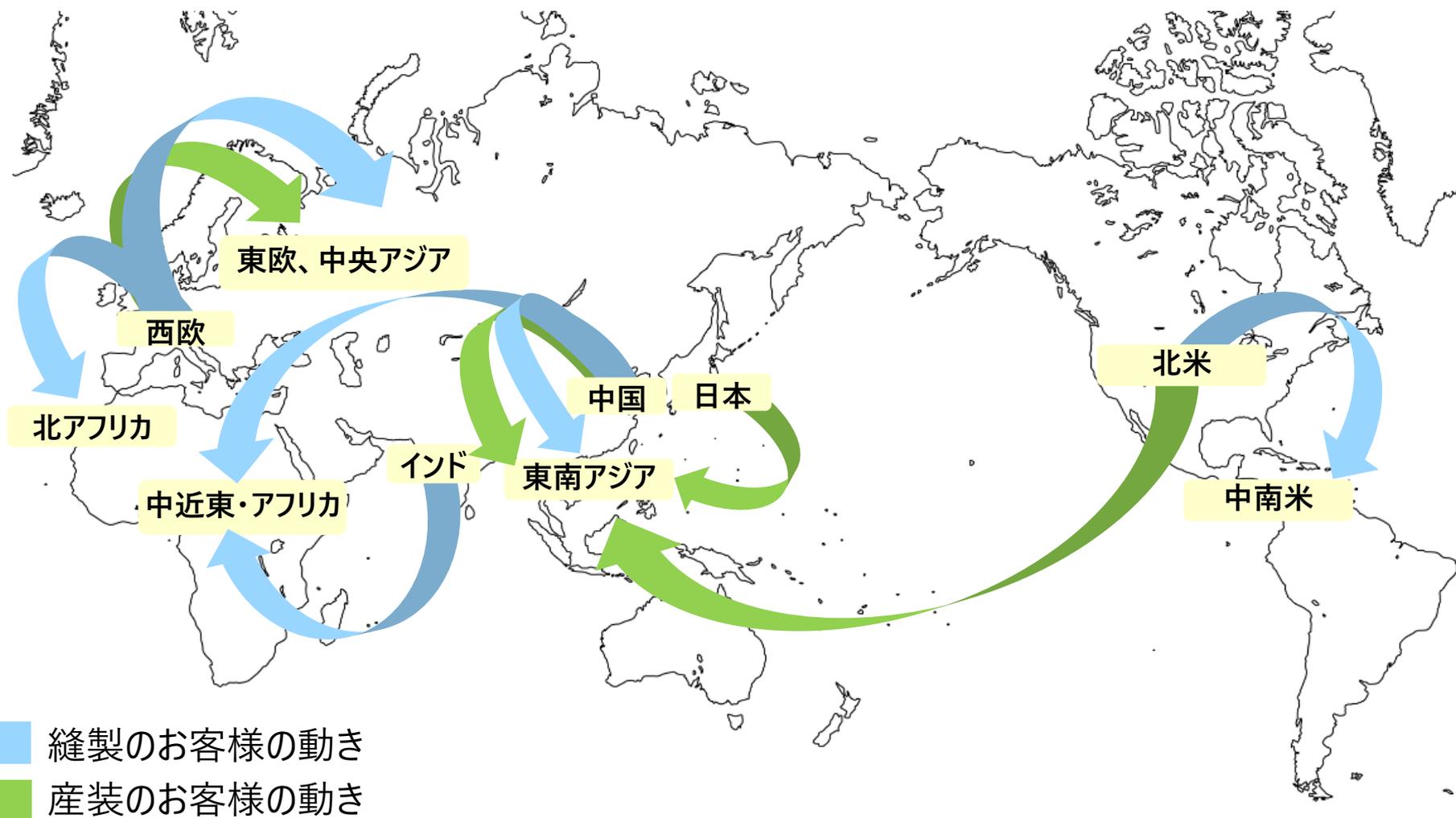
各事業領域において成長分野・差別化分野へ経営資源を投下すると共に  
事業領域の拡大を図る



※連結消去前  
※グラフ中 実績・計画共、社内計画レート

## 中期計画の取り組み ボーダレス化戦略

お客様の産地移転、仕事移転への対応として、  
本社・販社一体運営によるボーダレス営業を進める



ビジョン

JUKI Smart Solutionsのもと、革新的技術とシステム提案によりお客様のイノベーションに貢献

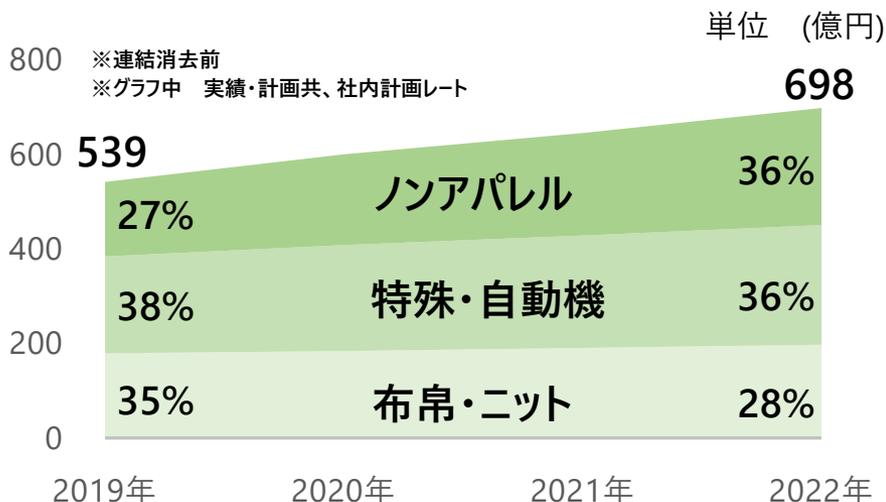
基本方針

- ・ノンアパレル事業の売上拡大による収益増強
- ・ミドル顧客の開拓とハイエンドへの移行による将来の顧客基盤を構築

【事業領域拡大の取り組み】

ノンアパレル・特殊・自動機の拡大

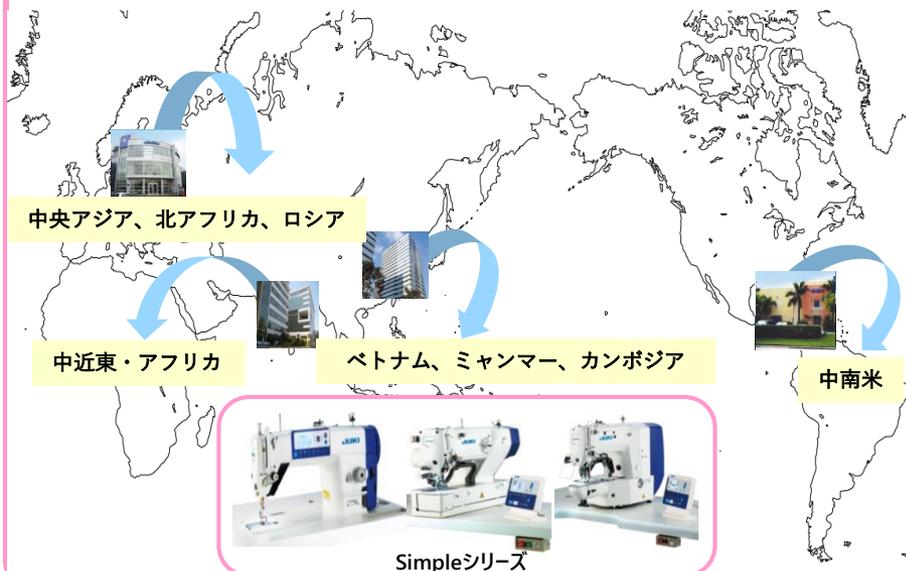
【売上目標】



【ボーダレスの取り組み】

未開拓市場への攻勢強化

新興国向け機種(Simpleシリーズ)の販売拡大



# 重点施策 縫製機器 & システム事業(工業用ミシン)

## お客様工場のスマートファクトリー化を実現するJUKIのラインソリューション

(①自動化②デジタル化③ネットワーク化)

《①自動化》  
生産性向上・  
省人化



自動機



ロボット縫製



自動搬送装置

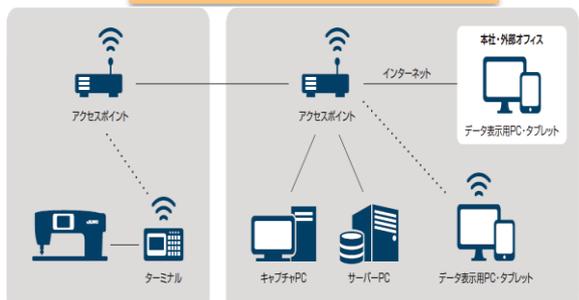
《プラント提案》



《②デジタル化》  
デジタルシリーズを軸とした  
ラインソリューション



《③ネットワーク化》  
IoT活用による現場改善



**ビジョン**

趣味力の高いお客様 (Home Sewer) と新たな楽しみの創造

**基本方針**

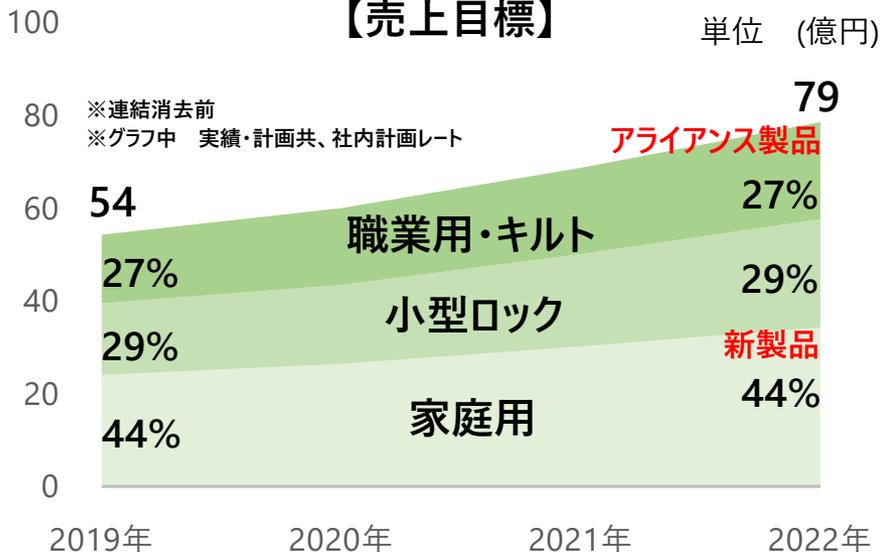
強みである高級家庭用・小型ロック・職業用・キルトを中心に事業を拡大

**【事業領域拡大の取り組み】**

- ・趣味力の高いユーザーに向けた新製品展開
- ・アライアンスを活用したキルト・刺繍機の展開

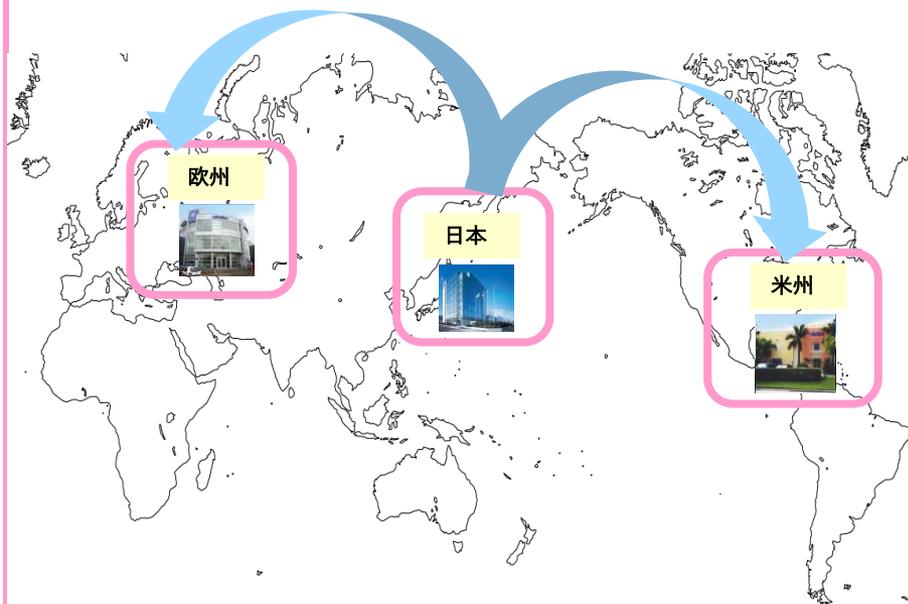
**【売上目標】**

単位 (億円)



**【ボーダレスの取り組み】**

重点市場(日本・米州・欧州)の販売拡大



市場の特性にマッチしたラインナップ強化

《日本》  
高級職業用ミシン

NEW SL-700EX

リアル & デジタル

↓  
顧客の創造

《欧州》  
高級家庭用ミシン

NEW  
《Kirei》  
HZL-NX7



《米州》  
高級家庭用ミシン  
キルト用ミシン  
刺繍機

《彩》

NEW QVP  
(タジマ工業製)



《みやび》  
J-350QVP



ビジョン

得意分野への集中と自動化・省人化ソリューションで、顧客にとってなくてはならない事業パートナーへ～2022年に汎用機台数シェア23%、省人化装置+ロボット 39億円、検査計測 25億円、自動倉庫+周辺機器 20億円達成～

基本方針

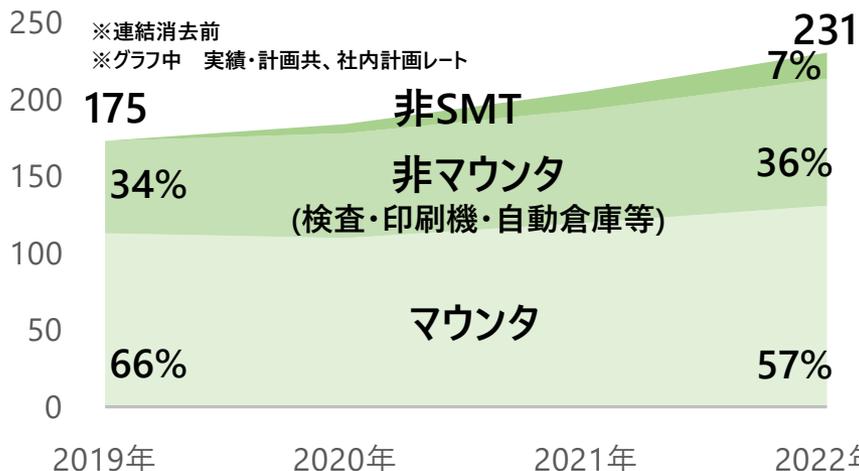
非マウンタ領域でのソリューション拡大とマウンタ領域でのラインソリューション拡充により事業基盤を拡大

【事業領域拡大の取り組み】

非マウンタ・非SMT分野の拡大

【売上目標】

単位 (億円)



【ボーダレスの取り組み】

販社間連携による重点市場の攻勢強化



# JUKI Smart Solutions

アライアンスの深化で  
更に事業領域を拡大



検査・計測の自動化



倉庫管理の自動化

実装統合システムソフトウェア

**JaNets**  
Juki Advanced Network system

生産支援

遠隔サポート

装置間連携

AI予知保全

基幹システム連携

他社提携



ストレージシステム  
ソリューション

高速実装システムソリューション

測定用途ソリューション

ロボット挿入システム  
ソリューション



材料・部品管理領域	SMT領域	手挿入領域	測定領域	組立領域	梱包領域
-----------	-------	-------	------	------	------

拡大事業領域

既存事業領域

拡大事業領域

## ビジョン

JUKIグループの経営資源（生産技術含む）を活かし、JUKI第三の柱へ

## 基本方針

- ・企画・開発、設計、組立受託、エンジニアリング拡大による事業領域の拡大
- ・営業体制強化による新規顧客の開拓

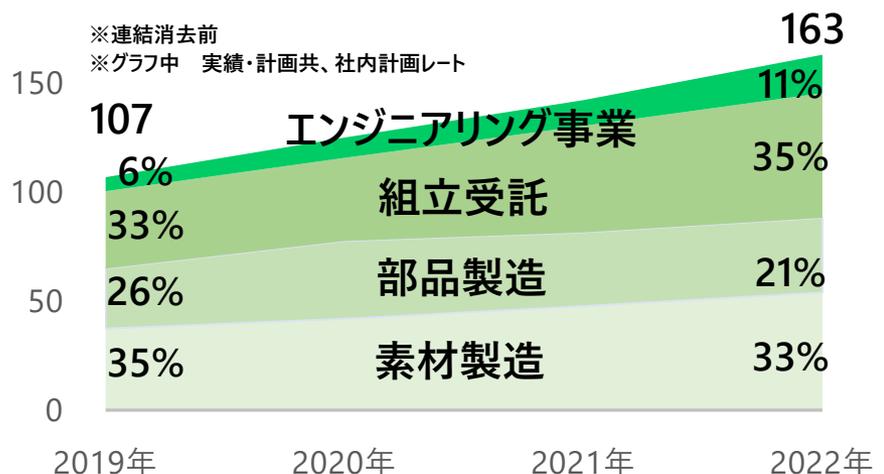
## 【事業領域拡大の取り組み】

成長分野(企画・開発、設計、組立受託、エンジニアリング)の拡大

⇒2020/1/1付、開発部を新たに設置

## 【売上目標】

単位 (億円)



## 【ボーダレスの取り組み】

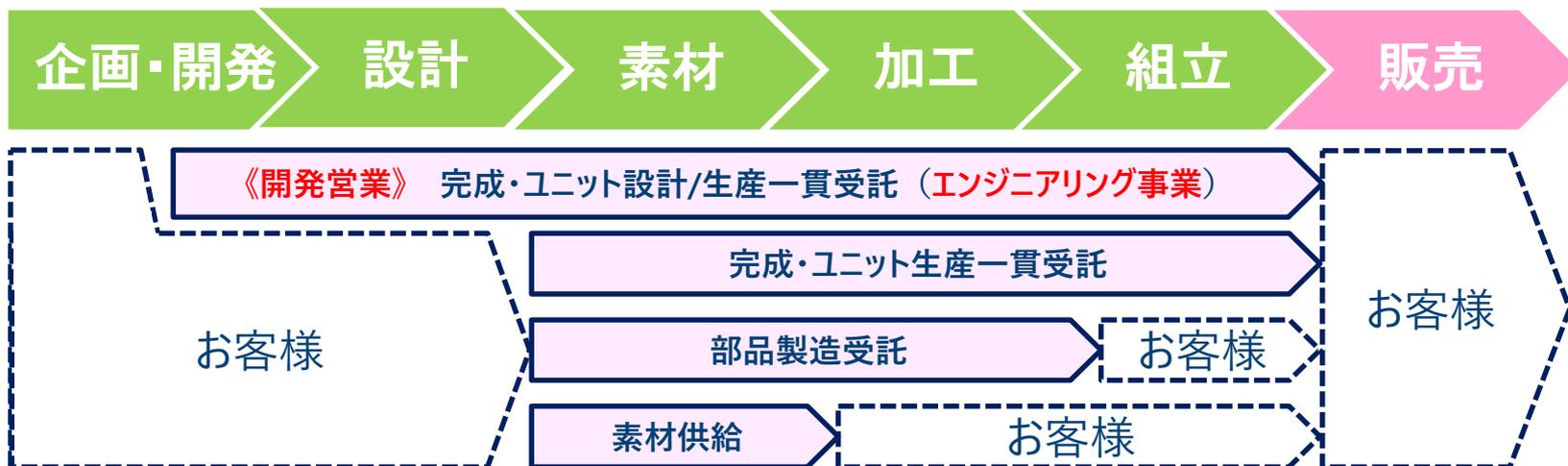
- ・各社連携から一体営業による販売強化  
⇒2020/1/1付、本社営業部を再編
- ・アジア分室設置による本社との連携強化  
⇒アジアへの展開拡大



検査機展示会(タイ)

# JUKI Contract Business Model

- ・企画・開発、設計、組立受託、エンジニアリング拡大による事業領域の拡大
- ・営業体制強化による新規顧客の開拓



ビジョン

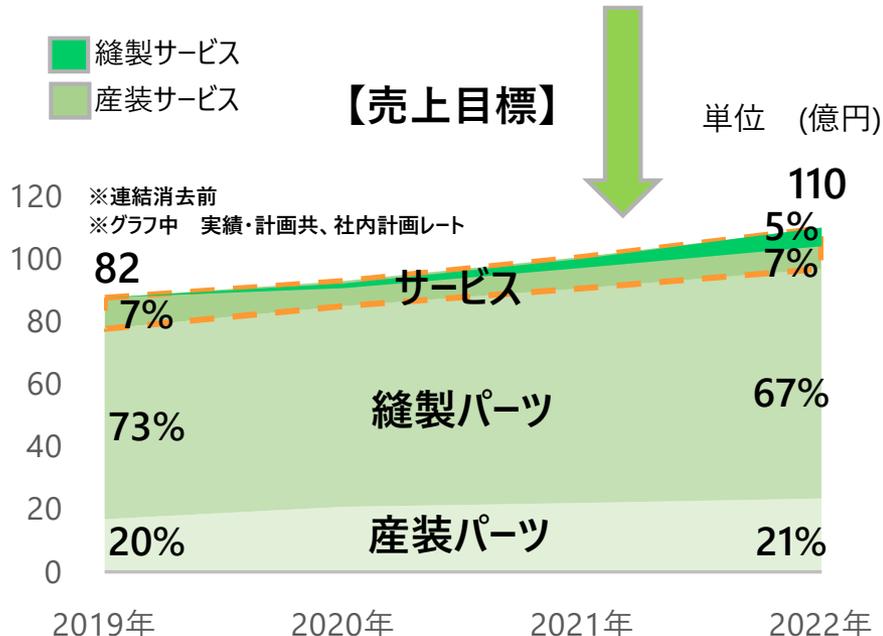
今日頼んだものが、明日必ず手に入るJUKI部品

基本方針

縫製、産装の垣根を越えて『モノ』売りから『コト』売りへ  
～付加価値拡大にて顧客囲い込み加速～

【事業領域拡大の取り組み】

サービス事業(特に縫製サービス)の拡大



【ボーダレスの取り組み】

- ・ダイレクトマーケティングの強化  
⇒ Webサービス活用による顧客の囲い込み

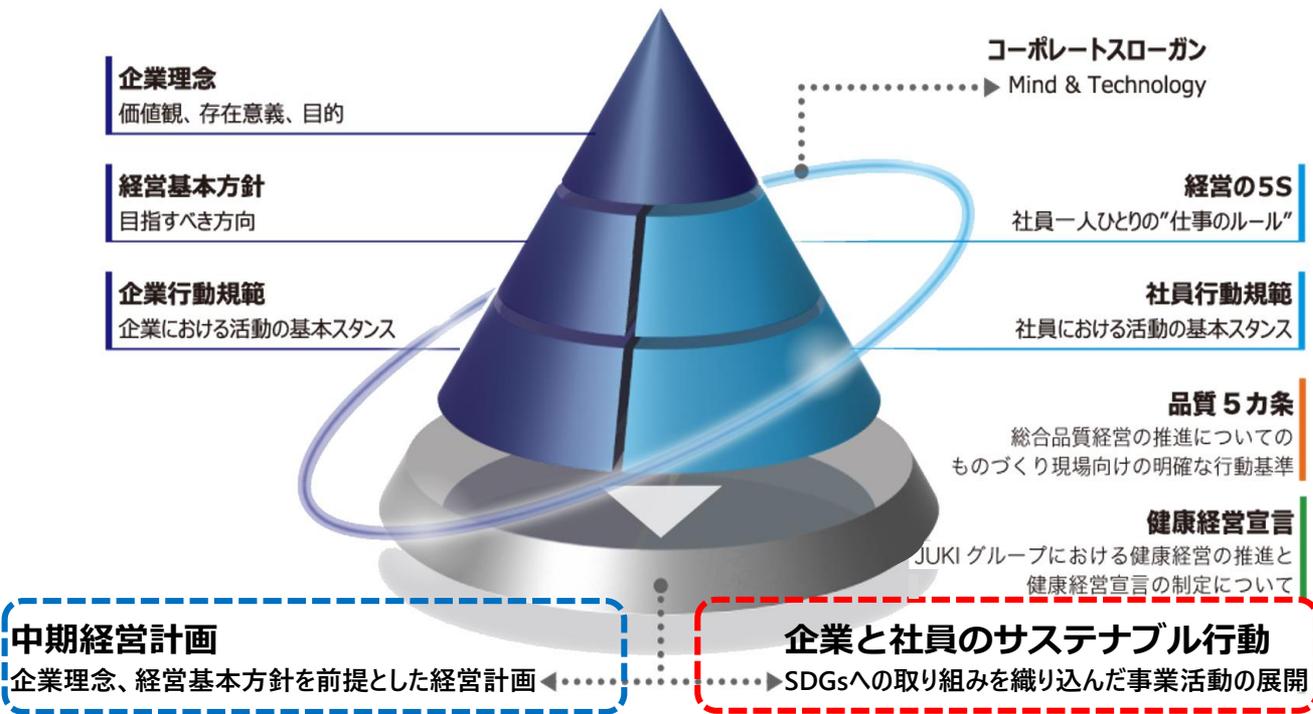


- ・本社・販社一体化のパーツ供給体制の構築  
⇒ 在庫最適化を実現する管理システムの構築



JUKIは、持続可能な社会実現に向けてこれまでも事業に取り組んできました。2030年SDGs目標の達成を視野に入れて、事業創出に取り組み、社会問題の解決に取り組んでいきます。

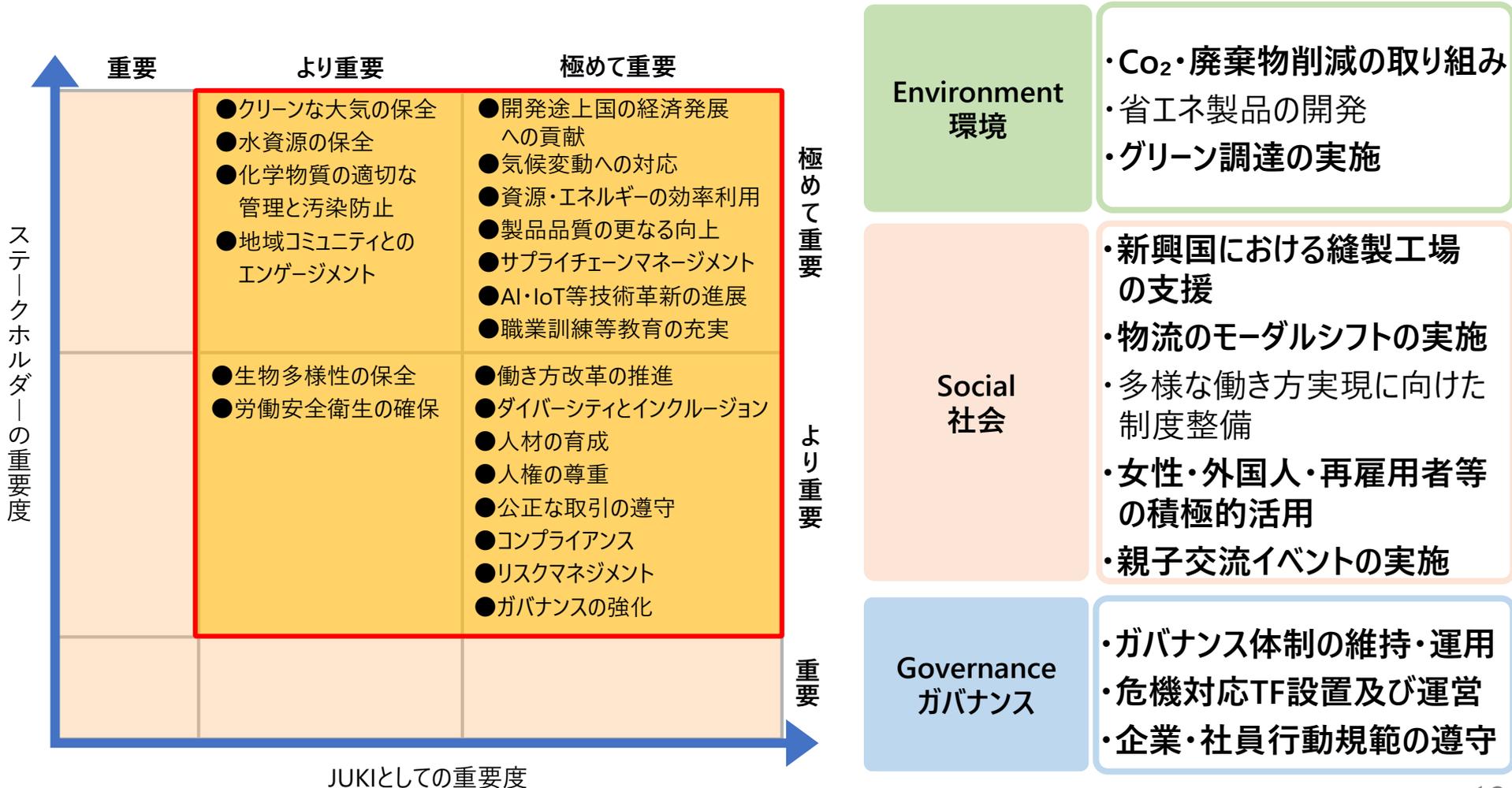
JUKI 企業理念図



JUKIは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

## SDGsへの取り組み

ステークホルダー・JUKI双方にとっての重要度から取り組むべき課題を抽出、事業計画等に組み入れて、具体的な活動(企業と社員のサステナブル行動)を展開していきます。



本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等が様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。

**J U K I 株式会社**